

令和8年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書(概要版)

令和8年8月
教育部教育総務課

1 取組の概要

【報告書】参照
P2～8

- (1) 実施日 令和8年4月25日(土)午前8時45分から午後1時15分頃まで
(2) 実施場所 市立全小・中学校28校、大町スポーツ施設(市統一テーマ訓練のみ)
(3) 当日のタイムスケジュール(※詳細は各学校で異なる。)

時間	(1) 学校教育活動(小学校例)	(2) 市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」
8:45	1校時 防災啓発講話 (保護者・地域へ公開)	
9:15		
9:30		
9:45	2校時 「命」の授業 (保護者・地域へ公開)	9:45 市職員・地域の方集合 ・一日の流れの確認 避難所開設訓練 ・避難スペース設置、避難所受付準備 ・避難所体験の準備 等
10:30		
10:45	3校時 安全指導 11:00 発災 避難訓練・引取訓練 ・校庭への避難 ・講評(校長・副校長)	
11:00	下校 避難所体験	避難所体験 ・避難所受付、備蓄品、避難スペースなどの確認・体験 意見交換(訓練振り返り、課題抽出等) 片付け・終了報告 訓練終了
11:20		
13:15		

▼B-VR(ビーバー)(東京消防庁)を活用した授業(北ノ台小)



▼調布警察署員による防災啓発講話(富士見台小)



▼避難所体験(八雲台小)



▼地域との協働による訓練(国領小)



(4) 参加者数(人)

参加者区分	令和8年度	令和7年度	令和7年度比
学校 (教職員、児童・生徒)	17,308	17,168	140
保護者	13,097	13,316	▲ 219
地域	330	383	▲ 53
市職員 (避難所担当職員・初動要員等)	359	481	▲ 122
消防・警察職員 (消防団員を含む。)	53	50	3
合計	31,147	31,398	▲ 251

※参考:市内都立・私立学校における防災訓練等の参加者数

実施校		令和8年度	実施日
東京都立調布北高等学校		699	5月20日
東京都立調布南高等学校		750	4月22日
東京都立神代高等学校	全日制	947	7月11日
	定時制	52	5月1日
明治大学付属明治高等学校・明治中学校		1,431	4月28日
晃華学園中学校高等学校		900	6月11日
桐朋女子中学校・高等学校		1,000	6月10日
ドルトン東京学園中等部・高等部		609	6月8日
計		6,388	

2 学校教育活動の取組

【報告書】参照
P92～119

- (1) 「命」の授業・防災啓発講話
・児童生徒に命の尊さを学び、「自らの命は自らが守る」意識を高める「命」の授業を実施
・調布消防署・調布警察署の職員による参加・体験型授業や一部の学校で、講師を招聘した防災啓発講話等を実施
(2) 避難訓練・引取訓練
・全学年一斉に校庭へ避難する避難訓練を実施し、校長・副校長から避難訓練の講評を実施
・各学校から保護者宛に「すぐーる(調布市学校安全・安心情報配信システム)」を用いて引渡し時刻等を周知のうえ、保護者等による引取訓練を実施

▼調布消防署との連携(上ノ原小)



▼避難訓練(柏野小)



▼金石市の実家が津波被害にあった教育委員会職員の講話(第八中)



3 市統一テーマ訓練の実施(避難所開設訓練)

【報告書】参照
P 18～20

- (1) 訓練概要
・市職員と地域の方との協働により、避難所開設時の課題を踏まえた訓練を実施
・【拡充】小学校全児童、中学校全生徒及びその保護者を対象に、受付、避難スペース、備蓄品等を体験する「避難所体験」を実施
(2) 訓練内容
・校門・校舎・体育館の開錠・施錠方法の確認、建物利用調査、図上訓練、防災備蓄倉庫確認、避難所体験(小学校全児童・中学校全生徒及びその保護者対象)、アクションカード(※)を活用した避難所開設、スマートフォン(二次元コード)を活用した受付等
※誰が参集しても適切に避難所開設を行えるように、避難所開設の手順・内容等を簡潔に整理したカード
(3) 訓練参加者数 803人 (市職員359人、教員114人、地域住民330人)
避難所体験参加者数 3845人 (児童生徒2090人、保護者1586人、他169人)

4 連携・協働の取組

【報告書】参照
P 6～8

- (1) 調布消防署との連携
・輪番校として定める5校(滝坂小、深大寺小、上ノ原小、石原小、第四中)において、署員を派遣していただき、SVR防災体験車(※)等の防災訓練を実施
・地震をテーマにした防災啓発講話(録画)を、実施希望校(12校)において視聴
※VR映像等で、地震や火事などの災害を一度に4人が疑似体験することができる車両です。
(2) 調布警察署との連携
・輪番校として定める1校(富士見台小)に対して、署員を派遣していただき、防災啓発講話を実施
(3) 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所との連携
・水害をテーマにした防災啓発講話(録画)を実施希望校(11校)において視聴
(4) 【新規】東京水道株式会社との連携
・国領小の第4学年、第六中の第3学年を対象に、災害時の断水中に給水車などから飲料水を安全に運搬・保管するための、給水袋の組立体験や応急給水体験を実施していただいた
(5) 鹿島建設株式会社 技術研究所との連携
・多摩川小の第5学年を対象に、調布市の地形的特徴を分析した「多摩川の特徴」、「水害のリスク」についての講義や水害に関するクイズを実施していただいた
(6) 地域との協働
・当日は、市立小・中学校全校及び大町スポーツ施設において、体育館での避難所体験等を実施
(7) NPO法人調布心身障害児・者親の会との協働
・第三中で実施した避難所開設訓練に参加していただいた
(8) 一般社団法人調布市民サービス公社との協働
・市職員(福祉健康部)が実施する福祉避難所開設訓練に、災害時協定を締結している調布市市民サービス公社の職員も参加し、5か所の地域福祉センター(西部、染地、菊野台、富士見、下石原)にて訓練を実施
(9) 市内都立・私立学校との連携
・左記の学校において、防災訓練等を実施していただいた
(10) 市長部局各部との連携
・各小・中学校及び大町スポーツ施設において市職員が市統一テーマ訓練「避難所開設訓練」を実施
(11) 社会教育施設における取組(東部公民館)
・第八中学校で実施した東部公民館職員による防災啓発講話を受けて生徒が作成した作文の一部を展示した「調布八中作文展」を東部公民館内で開催した
(12) その他
・児童生徒への防災教育の一環として、市立小学校5校(第三、滝坂、深大寺、多摩川、飛田給)で、災害時を想定し、日頃、食べる機会がないアルファ化米を実際に食体験(喫食)を実施

5 出された意見の概要

「市職員からの報告」「保護者アンケート」等からの意見を抜粋

【報告書】参照
P21～90

- ・新学期に防災訓練があることで、刺激があり、防災意識を高めることができた。
・家族で防災について話すきっかけとなり、改めて防災グッズや避難場所について話し合いたと思った。
・避難所体験を通して、雰囲気や備品を確認することができ、安心することができた。
・市職員として地域の方と活動することができ、良い経験となった。
・長く従事している職員が少なく慣れない状況もあったが、地域のサポートによりスムーズに訓練が実施された。地域の方の防災対策に関する理解もあり、職員との関係性も良好な中で気持ちよく協働の取組が実施できた。
・1年に1回参加してきて、(2つ倉庫があり)どちらの倉庫に何があるかなんとなくわかってきた。
・アクションカード※は良い取り組みだと思った。(※)
※誰が参集しても適切に避難所開設を行えるように、避難所開設の手順・内容等を簡潔に整理したカード
・QRコードを出してお待ちくださいと口頭で伝えたら、受付がスムーズになった。

課題等の改善に向け、地域、関係機関、庁内関係部署と引き続き協働・連携を図り、検討を進めます。